

## 6. ソート (2)

前回と同様に，列  $a[0], a[1], \dots, a[n-1]$  を昇順に並べ替えるものとして説明する．

**ヒープソート** まず，要素の列から最大値が先頭になるヒープを作る\*<sup>1</sup>．次に，ヒープから最大値を取り出し，最後の要素と交換する操作を繰り返すことでソートする．

**クイックソート** 要素の列からピボット（枢軸要素）を選ぶ．ピボット未満の要素を左側に，ピボット以上の要素を右側に集め，2つの部分列を作る．この2つの部分列に対して同じ操作を再帰的に実行することで，要素の列がソートされる．

列  $a[l], \dots, a[r]$  から2つの部分列を作る操作は次のように行うことができる．

- (1) ピボットを選び，列の右端  $a[r]$  と交換する．
- (2)  $i = l - 1, j = r$  とする．
- (3)  $i$  を 1 増やす．  $a[i] < a[r]$  ならば (3) に戻る．
- (4)  $j$  を 1 減らす．  $i < j$  かつ  $a[j] \geq a[r]$  ならば (4) に戻る．
- (5)  $i < j$  ならば，  $a[i]$  と  $a[j]$  を交換し， (3) に戻る．
- (6)  $a[i]$  と  $a[r]$  を交換する． このとき，次が成り立つ．

$$a[l], \dots, a[i-1] < a[i], \quad a[i] \leq a[i+1], \dots, a[r].$$

**マージソート** 列を2つに等分し，それぞれを再帰的にソートする．ソートされた2つの部分列を結合してソートされた列を作る．

部分列の結合は次のように行われる．まず新しい空の列を用意しておく．次に，2つの部分列の先頭を比較し，小さい方を取り除いて新しい列に追加する．この操作を繰り返し，一方の部分列がなくなったら，もう一方の部分列を新しい列に連結する．

## 問題

- 実数  $x$  に対し，  $x$  の切り捨て（  $x$  以下の整数で最大のもの）を  $\lfloor x \rfloor$  で表し，  $x$  の切り上げ（  $x$  以上の整数で最小のもの）を  $\lceil x \rceil$  で表す．
- 解答に際して，その問題より前にある問題の結果を用いてもよい．
- 比較回数は列の要素のものだけを数え，添字の比較回数は数えないものとする．

\*<sup>1</sup> プリント No. 4 では最小値を先頭に行っていたことに注意せよ．

6-1. 次の整数列 (\*) をヒープソートによって昇順にソートし, その経過を図示せよ.

$$63, 50, 68, 32, 13, 25, 82, 53 \quad (*)$$

6-2. 整数列 (\*) をクイックソートによって昇順にソートし, その経過を図示せよ. ただし, ピボット (枢軸要素) として右端の数を選ぶものとする.

6-3. 整数列 (\*) をクイックソートによって昇順にソートし, その経過を図示せよ. ただし, ピボットとして左端の数を選ぶものとする.

6-4. 整数列 (\*) をマージソートによって昇順にソートし, その経過を図示せよ.

6-5.  $n$  個の要素の列  $a[0], a[1], \dots, a[n-1]$  に次のアルゴリズムを適用すると最大値が先頭になるヒープができることを示せ.

(1)  $i = \lfloor (n-2)/2 \rfloor, \dots, 0$  に対して (i)–(iv) を繰り返す.

(i)  $j = i$  とする.

(ii)  $a[j]$  が子を持たなければ (1) に戻る.  $a[j]$  が子を持つとき,  $a[j]$  の子と比較し, 値が大きい方を  $a[k]$  とする.

(iii)  $a[j] < a[k]$  ならば  $a[j]$  と  $a[k]$  を交換する.

(iv) 交換が起きていれば,  $j = k$  として (ii) に戻る.

6-6. 問題 6-5 のアルゴリズムにおいて, 比較回数, 交換回数はともに  $O(n)$  であることを示せ.

6-7.  $k$  を 2 以上の整数とする. マージソートにおいて, 列を 2 等分する代わりに  $k$  等分してもソートすることができる. この方法で  $n$  個の要素からなる列をソートするとき, 最悪の場合の比較回数を  $C(n)$  とすると,

$$C(1) = 0, \quad C(n) \leq kC\left(\left\lceil \frac{n}{k} \right\rceil\right) + c_k n \quad (n \geq 2) \quad (\dagger)$$

が成り立つ. ただし,  $c_k$  は  $k$  によって定まる正の定数である. このとき,  $C(n) = O(n \log n)$  であることを示せ. なお, 式 ( $\dagger$ ) は証明せずに用いてよい. また, 必要ならば, すべての  $n \geq 1$  に対して  $C(n) \leq C(n+1)$  であると仮定してよい.